

# ふるさと水辺の生き物教室

## 半田池地区



東予地方局今治支局農村整備課

## 1. 生き物教室の概要（がいよう）

開催日時：平成27年6月26日（金） 9：30～14：15

開催場所：上島町岩城半田池地区

講師：松山東雲女子大学 石川和男名誉教授  
愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター  
嘱託研究員 久松定智博士

参加者：上島町立岩城小学校 5・6年生27名

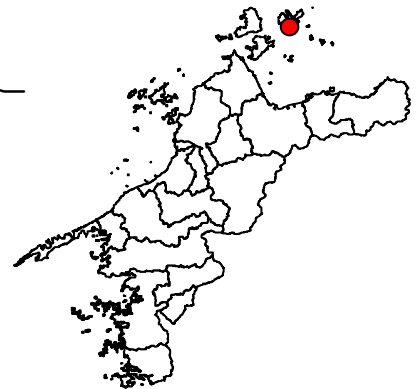
先生3名

ふるさと水と土指導員 宮脇馨

東予地方局今治支局農村整備課 9名

上島町役場産業振興課 3名

みどり  
水土里ネット愛媛 6名



## 2. 地区の概要（がいよう）

岩城小学校は、愛媛県の東北部、瀬戸内海のほぼ中央に浮かぶ島々から構成された上島町にあり、穏やかな瀬戸の青い海、みどりの島山、白い砂浜と大変美しい環境に恵まれています。岩城小学校のある岩城島は、「青いレモンの島」として有名です。島の中央にそびえる積善山（岩城富士）からの眺望はすばらしく、山頂付近に植えられた約3000本の桜が美しさを添えます。農業や漁業に加え、芋菓子製造や造船等の産業も盛んです。学校のすぐ前が海、そして振り向けば山と学校のまわりに豊かな自然がたくさんあります。この素晴らしい環境の中、岩城小学校の児童は健やかに成長しています。





### 3. 生き物教室の内容

今回の生き物教室は、岩城小学校の5・6年生27名を対象として行われました。当日は雨が降る中の開催となりましたが、調査を行った半田池や近隣の水田では、様々な生き物を採集することができました。

#### ○教頭先生のお話（岩城小学校 本山卓嗣教頭）

おはようございます。心配していた天気ですが、何とか実施できるくらいの雨になり、みんなが楽しみにしていた、ふるさと水辺の生き物教室を開催することができます。

これから、半田池や池の周辺に生息している生き物について調べに行きますが、みんなが生まれ育った岩城島は、すぐ近くに海や山があり、大変豊かな自然に恵まれています。その中で、どんな生き物がいるのかを調べる事で、自然と関わることができます。また、生き物の名前を知ることにより、その生き物をもっと身近になります。身近に感じると、もっと知りたいと思うようになります。今回はそういうすばらしい機会を持つことができます。

みんなの住んでいる岩城島の豊かな自然と触れ合い、関わりをもつことで、自然を守っていこうという気持ちを育てて欲しいと思います。

今日はみんなの学習のために、松山の大学の先生、愛媛県東予地方局や上島町の方々がみんなの学習を手伝ってくれます。感謝の気持ちを持ちながら充実した一日にしましょう。



#### ○地元の方のお話（ふるさと水と土指導員 宮脇馨さん）

みなさんおはようございます。今日はあいにくのお天気ですが、こういう天気でしか出会えない生き物が必ずいます。今回のふるさと水辺の生き物教室では、自分の目線・自分の見方で、色々な生き物と出会って頂きたいと思います。

今日みなさんが見つける生き物にも、命の時間・寿命があります。「ゾウの時間・ネズミの時間」というお話があり、生き物はそれぞれ大きさによって心臓の活動の時間などが違い、寿命も違ってきます。私たちにも寿命がありますが、今日みなさんが出会う生き物は、もしかしたら明日にはいなくなって、一生に一度の出会いのチャンスとなるかもしれないので、最大限に活かして楽しんで頂きたいと思います。



○採集・観察時の注意事項（松山東雲女子大学名誉教授 石川和男先生）

- ・自分でアンテナを張り巡らし、聞こう・見ようという気持ちになると、今まで気付かなかった生き物が発見できる。
- ・生き物は、池の底・泥の中・石の下・石の表面・草・木・花・葉っぱなど色々なところに隠れていて、色々な捕り方がある。
- ・半田池にはイノシシのぬた場があり、そこにはマダニがいるので注意する。採集から戻ったあとは、服などにマダニが付いていないかよく確認する。
- ・マムシやヤマカガシには毒があるので注意する。

○生き物採集

説明や注意事項を受けたあとは、待ちに待った採集のはじまりです。1班から6班に分かれ、それぞれ生き物採集を開始しました。





〇生き物の同定（名前調べ）・観察

学校へ戻ってからは、採集した生き物の観察です。石川先生から、生き物をスケッチする時のコツや描きかたを教えてください、自分たちが捕まえた生き物の中から興味のあるものを選び、名前や特徴を調べていきました。

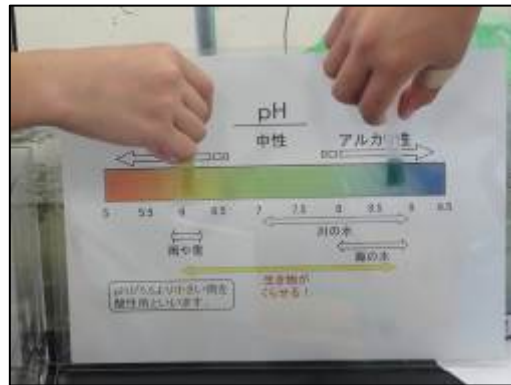


○水質調査（愛媛県東予地方局今治支局農村整備課 石丸富久係長）

パックテストという水質を分析する器具を使い、田んぼとため池の水の測定を行いました。調査の結果、田んぼの水は各班の平均pH値が6.2で弱酸性、ため池の水は平均pH値が8.5でアルカリ性ということが分かりました。

各班測定結果

	1班	2班	3班	4班	5班	6班
田んぼの水のpH値	6	6.3	6	6.5	6.4	6.2
ため池の水のpH値	8.7	8.7	8.5	8.5	8.6	8.4



○ため池のお話（愛媛県東予地方局今治支局農村整備課 石丸富久係長）

ため池の多面的役割（機能）

- 1、農業用水 --- 農家の方が、田で米を作るために水を溜める、貯水池の役割。
- 2、防災 ----- 大雨のとき、水を溜めるダムのような防災的役割。
- 3、生態系 ----- 水辺にすむ動物・植物が、生きる場所としての役割。
- 4、親水 ----- 水がある風景など、人が水辺に親しむ場所としての役割。

※ため池ではよく事故やケガがおこり、日本全体で年間 20 人くらいが亡くなっている。今日は生き物調査でため池に入ったが、危険なので普段は近づかないようにする。



## ○生き物講座（松山東雲女子大学名誉教授 石川和男先生）

- 生き物は、田んぼや川など、環境かんきょうによってすんでいるものが違う。
- 生き物は、大昔から「食べたり食べられたりする関係」が複雑につづいていて、それによりバランスがとれている。  
例えば、アゲハチョウは一度に 400 個くらいのたまごを産むが、そのうち成虫になるのは数匹くらいで、たまごの時から成虫になっても色々な生き物に食べられている。
- 生き物を観察する時のコツは、「よく見る・よく聞く・触れてみる・匂いを嗅ぐ・安全を確かめてから味わってみる」など、私たちが持っている感覚をすべて使うと記憶に残る。
- 今はパソコンで色々なことを知ることができるが、本物に触れ、自然の神秘しんぴや不思議さなど、その時の感性かんせいや感動を大切にする。
- 生き物と一緒に生きるために、生き物は「なぜその環境にいるのだろうか？」「何を食べて、何に食べられているだろうか？」「他の生き物とのつながりはどうだろうか？」「その生き物はどんな役割をしているのだろうか？」「その生き物と私たちの関係はどうだろうか？」「それでは、私たちはどうすればいいのだろうか？」ということを考えてみる。
- 自然を大切にする為には、「いつでも・どこでも・誰でも」できる事からはじめる。



## ○生き物講座（愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター嘱託研究員 久松定智先生）

### トンボの特徴

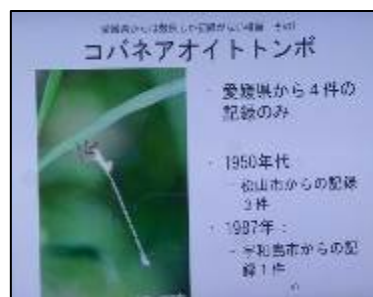
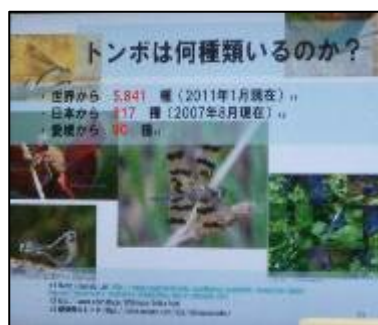
- 大きな目がある。
- 肉食なので大きなアゴがあり、かまれると結構痛い。
- 胸の部分が、前胸・中胸・後胸と3つに分かれていて、それぞれから2本ずつ足が出ていて、合計6本の足がある。
- お腹の部分が10節に分かれている。
- オスとメスの見分け方は、お腹の2節のところに副性器という部分があるのがオスで、ないのがメス。

### トンボの生態（普段どういう生活をしているか）

- 幼虫の時は水の中にすんでいて、成虫になると陸や空中で生活する。
- すんでいる場所は、川と池の2つに分かれる。
- 種類によって、たまごの産み方や形が違う。  
アカトンボの仲間は泥に直接たまごを産みつけ、イトトンボの仲間は木や植物にたまごを産みつける。

### トンボについて

- トンボは大きく分けて、**均翅亜目**と**不均翅亜目**というグループに分けられる。  
均翅亜目-----前ばねと後ばねの大きさが同じ。イトトンボ・カワトンボなど。  
不均翅亜目---前ばねと後ばねの大きさが違う。ヤンマの仲間・サナエトンボなど。
- 愛媛県には90種類くらいのトンボがいる。日本では200種類くらいで、世界では6,000種類くらいいる。
- アジアイトトンボ・コバネアオイトトンボ・モートンイトトンボは、**珍しいトンボ**で松山や今治市内でもかなり数が減っている。





## ○感想発表

### 1班 新川大凱くん

今回は虫を触ることはできなかったのですが、近くで見ているととても面白かったので、また友達と昆虫採集に行ったり、水辺の生き物を調べたりしたいと思います。



### 2班 渡部愛華さん

水辺の生き物教室で、今まで見たことのない生き物がたくさんいたことに驚おどろきました。今日は、色々な大きさの魚やエビなどを見ることができてよかったです。



### 3班 高岡芽生さん

私は今日の生き物教室で、あまり見たことのない生き物を見ることができてよかったです。生き物を触るのは苦手ですが、今日はカエルを触ることができました。



### 4班 砂川漢九郎くん

今日のふるさと水辺の生き物教室では、池にいた魚やカエルを捕ることができ、観察もできたのでよかったです。面白かったので、これからも水辺の生き物や昆虫を捕ってみたいと思いました。



### 5班 白石力斗くん

今日の生き物教室では、見たことのない魚を見たり、池や田んぼの水質調査ができました。次に観察する時には、今日のこいを活かしたいと思います。



### 6班 岡野佑香さん

私が今日印象いんしょうに残ったことは、水槽すいそうの中のカエルを見たことと、目を閉じて鳥の鳴き声を聞いたことです。目を閉じると、あまり聞いたことのない音や鳴き声がたくさん聞こえてきました。これからも、目を閉じて鳥の鳴き声なを聞いてみたいと思います。



## ○閉会の挨拶（愛媛県東予地方局今治支局農村整備課 関谷克二工事検査専門員）

本日の、ふるさと水辺の生き物教室を楽しんで頂けたようで大変うれしく思っています。事故もなく終了できたのは、みなさんがルールを守り、行動してくれたからだと思います。あいにくの天気でしたが、採集に出かけられるようになったのは、みなさんの気持ちが天に通じたからではないでしょうか。

今日みなさんは、鳥の鳴き声を聞く耳と、小さな生き物を見つける目を得ることができました。これから家の周りや通学路の自然を見つけ、岩城の自然を好きになって欲しいと思います。大人になったとき、すばらしい岩城の自然を守っていくために、みんなで協力して頂けたらと思います。



## 4. おわりに

今回のふるさと水辺の生き物教室を通じて、普段は気付かなかった生き物を発見し、講義を聞くことで詳しい生態を知ることが出来ました。児童たちは実際に自分の手で採集し、観察することでより身近に感じる事が出来たのではないのでしょうか。

今日学んだことを機会として、生き物や自然環境をはじめ、自分たちが住んでいる地域の様々なことに関心が高まることを期待しています。

